

事業番号	15 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課		
		実施期間	S54 ~	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり				

1 現状と課題

- ・発達障がい等があり特別な支援が必要な児童生徒数の増加（R元:5.29%→R2:5.73%※）に伴い、地域における支援体制の更なる充実が求められている。（※義務教育で発達障がいの診断等のある児童生徒の割合）
- ・実習先の更なる開拓や障がい者雇用に係る企業の理解促進が必要。

2 事業目的

- ・『適切な学びの場』ガイドラインを活用した校内支援体制の充実、特別支援教育コーディネーターの養成研修の実施、自立活動担当教員による支援の充実等を引き続き推進し、教員の発達障がいに対する理解の促進と支援力の向上を図る。
- ・生徒の希望する進路の実現に向け、技能検定の取組を広く企業等に紹介するとともに、進路指導主事と就労コーディネーターとの連携による実習先の更なる開拓を進める。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす特別支援学校の実現

- ・各特別支援学校に設置している学級担任等をサポートする専門性サポートチームの人員を増員し、児童生徒の学習上・生活上の困難さを改善・克服するための支援を充実



ピアニストによる特別授業

②インクルーシブな社会の実現

- ・児童生徒の多様な学びに対応するLD等通級指導教室を増設（11教室）
- ・小中学校との交流を支援する副学籍コーディネーターの配置（4人）
- ・生徒の働く意欲とスキルの向上を図る特別支援学校技能検定の実施

（清掃部門・喫茶部門・食品加工部門）



技能検定食品加工部門

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	小学校における通級指導教室を利用している児童の割合	%	0.73	0.76	↗	0.87	↗	1.00	未達成	第2次長野県特別支援教育推進計画で、R4年度に1.0%と設定	
②	高等学校における個別の指導計画の作成を必要とする生徒のうちの作成している生徒の割合	%	44.9	34.9	↘	41.5	↗	50.0	未達成	第2次長野県特別支援教育推進計画で、R4年度に50%と設定	
③	副次的な学籍に取り組む市町村	%	83.3	92.4	↗	97.0	↗	92.4	達成	特別支援学校へ通う児童生徒が住む市町村の状況を踏まえ設定	
④	特別支援学校高等部卒業生の企業等就労率	%	21.7	29.4	↗	23.7	↘	33.6	未達成	第2次長野県特別支援教育推進計画で、R4年度に33.6%と設定	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				合計 （予算現額）	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等					
R4年度	0	184,850	0		184,850	139,246	164,079	7.1
R3年度	0	202,742	0		202,742	161,502	142,375	7.1
R2年度	0	163,947	0		163,947	132,415	138,308	7.1

事業番号	15 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	特別支援教育推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

6 主な取組実績と成果

<p>①一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす特別支援学校の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より効果的なICTの活用を促進するため、各特別支援学校にICT活用推進担当者を1名ずつ、また各ブロック（4ブロック）にICT活用推進ブロックリーダーを1名ずつ配置した。（ICT活用推進ブロックリーダーによる学校巡回回数196回） ・行動面に困難さのある児童生徒の困難さの改善・克服に向け、行動支援対応リーダーを2名配置し、研修会・報告会の実施や各校に対する相談支援の実施（278回）により、支援を行った児童生徒の7割超で大きな改善が見られた。 <p>②インクルーシブな社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の多様な学びに対応するLD等通級指導教室を11教室、サテライト教室を13教室増設 ・小中学校との交流を支援する副学籍コーディネーターを4名配置 ・生徒の働く意欲とスキルの向上を図る特別支援学校技能検定の実施（清掃部門12校・喫茶サービス部門7校・食品加工部門4校参加）

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	小学校における通級指導教室を利用している児童の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
通級指導教室を計画的に整備したことにより利用率は増加したが、利用希望者数が大幅に増加しており、すべてのニーズに応えることはできず目標値を下回った。							
指標②	高等学校における個別の指導計画の作成を必要とする生徒のうちの作成している生徒の割合	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
個別の指導計画を作成した生徒数は前年度より22名増加し、作成率は6.6ポイント増加した。一方、学校により対応が必要な生徒数に差があり、対象生徒が多い学校では十分対応できないケースがあり、目標値を下回った。							
指標③	副次的な学籍に取り組む市町村	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
副学籍コーディネーターや特別支援教育推進員が好事例を市町村に紹介してきたことなどで、未実施市町村の導入促進につながった。							
指標④	特別支援学校高等部卒業生の企業等就労率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
「開拓訪問数」「現場実習に結び付いた事業所数」が過去最多を更新しており、実習及び就職に関する機会を拡充できた。一方で、就労を希望する生徒の減少などで目標値を下回った。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用や行動支援の分野において自立活動担当教員を増員し、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた支援の充実に取り組んできた。今後は、ニーズに応じた支援が全県に広く行き渡るよう、引き続き校内支援体制の充実、教員の支援力の向上に取り組んでいく必要がある。 ・通級指導教室については計画的な整備を進めているが、利用希望者数が大幅に増加しているため、引き続き丁寧なニーズ把握とそれに応じた増設を行う必要がある。 ・高等学校における個別の指導計画の作成については、研修機会の充実や特別支援学校の自立活動担当教員等による支援の充実により推進していく。
(2) 翌年度以降の事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズが高まっている行動支援の分野において、更に手厚い支援を実施するため行動支援対応リーダーを増員するとともに、外部専門家とも連携した取組の充実により、校内支援体制の充実と教員の支援力向上を図る。 ・通級指導教室のニーズに応じた増設を引き続き推進し、一人ひとりのニーズに応じた適切な学びの場の整備に取り組む。 ・高等学校への巡回支援を行う教員を増員し、対応が不十分であった学校や地域に対する支援を充実させる。

事業番号	15 05 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	特別支援教育推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	特別支援教育推進指導事業		41,807 千円	42,237 千円	40,950 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	発達障がい児総合支援事業	直接	地域の中核となるコーディネーターの養成研修、出前研修、LD等通級指導教室担当者専門性向上研修事業、多層指導モデル構築の推進事業、専門機関との連携強化事業、高等学校特別支援教育強化事業の実施 出前研修 27回実施 1,313名参加		
2	特別支援学校センター的機能充実事業	直接	自立活動担当教員による地域の小中学校の特別支援学級への巡回相談支援、外部専門家（OT,PT,ST）や芸術家、スポーツ選手等を特別支援学校に派遣 外部専門家を活用した指導の実施回数 161回		
3	特別支援教育充実事業	直接	自立活動担当教員の増員、自立介護支援員の配置、LD等通級指導教室担当教員の増員、長野県特別支援教育連携協議会の開催、副学籍コーディネーターの配置、特別支援学校の専門性向上事業の実施、「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業の実施 自立活動担当教員の増員 25名		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	就学指導事業		27,896 千円	19,685 千円	29,659 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	就学相談体制整備事業	直接	特別支援教育推進員の配置、長野県教育支援委員会の開催 特別支援教育推進員 4名配置		
2	交流教育推進事業	直接	交流教育提携校との交流、提携校以外の相手先との交流 交流教育提携校との交流回数 185回		
3	特別支援学校就労支援総合事業	直接	技能検定の実施校拡大、就労コーディネーターの配置、産業現場等における実習の実施 技能検定の延べ実施校数 23校		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	就学奨励事業		68,605 千円	80,453 千円	93,470 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	医療的ケア体制整備事業	直接	学校看護師の配置、医療的ケア研修、医療的ケア運営協議会の開催、医療的ケア指導医派遣研修の実施 特別支援学校医療的ケア研修開催数 23回		